

観点	番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
		2・東書	第1学年 第2学年 第3学年	国語・701 国語・801 国語・901	新しい国語 1 新しい国語 2 新しい国語 3
取扱内容	学習指導要領の総則及び各教科の目標、内容等	<p>○ [知識及び技能] の内容については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～学校図書館などを活用した情報の集め方を身に付け、図表と文章を関連付けながらレポートを書く活動や、浦島太郎について書かれた文章を読み、古典を学ぶ意味を理解する活動</p> <p>第2学年～必要な情報を取り出し、囲みや矢印を使って整理する活動や、写真資料と併せて古典を学び、筆者のものの見方や考え方、表現の仕方を捉える活動</p> <p>第3学年～調べたいテーマについてインターネットなどで調べることを通して、情報の客観性や信頼性を吟味する活動や、古典の言葉を読み味わい、引用する活動</p> <p>○ 話すこと・聞くことについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～話の中心を明確にし構成を考える活動や、話合いの展開に注意して考えをまとめる活動を通して、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにする。</p> <p>第2学年～資料や機器を使い分かりやすく話す活動や、互いの立場や意見を尊重しながら話し合い、結論を出す活動を通して、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。</p> <p>第3学年～場の状況に応じて思いや考えが伝わるように表現を工夫する活動や、話し合っ合意を形成する活動を通して、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。</p> <p>○ 書くことについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～調べて分かった事実などを基に構成を考えてレポートを書く活動や、意見文について助言し合う活動を通して、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにする。</p> <p>第2学年～多様な方法で集めた材料を整理し絞り込んで書く活動や、根拠の適切さについて吟味して意見文を書く活動を通して、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。</p> <p>第3学年～論の進め方を考え説得力のある批評文を書く活動や、集めた材料を吟味し構成を工夫して書く活動を通して、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。</p> <p>○ 読むことについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～詩に描かれた風景や思いを想像し音読する活動や、必要な情報を取り出して要約する活動を通して、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにする。</p> <p>第2学年～登場人物の言動の意味を考えて作品を読む活動や、文章を読み比べて論の進め方を考える活動を通して、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。</p>			

	<p>第3学年～場面の展開や表現の仕方に着目し作品を批評する活動や、文章に表れている考えを捉え吟味する活動を通して、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～「てびき」において、学習課題を設定し、見通しを持たせるとともに、登場人物や情景を描いた表現に注意して読んだり、文章の書き方の工夫について交流したりするなど、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第2学年～「てびき」において、学習課題を設定し、見通しを持たせるとともに、構成や表現を工夫して新聞記事を書き換えたり、場面を比較して読み表現の効果について交流したりするなど、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第3学年～「てびき」において、学習課題を設定し、見通しを持たせるとともに、人物像や人物の考えを読み取ったり、筆者の主張について自分の意見とその根拠を書いたりするなど、考えを広げたり深めたりする活動</p>
<p>内容の構成・ 排列、 分量等</p>	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第1学年～日常生活の中から題材を見つけ、言葉を選び、表現を工夫して詩を書く活動の後に、視点を決め、人物の心情などを描き出すため、ふさわしい言葉を選んで文章を練り上げる活動を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第2学年～日常生活の中から題材を決め、出来事と思いがよく伝わるように、表現を工夫して随筆を書く活動（第1学年）の後に、表現の効果を考え、描写を工夫して物語を書く活動（第2学年）を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第3学年～相手の考えとその根拠に注意して聞き、自分の考えと比べる活動（第2学年）の後に、話の内容や表現の仕方を評価しながら聞き、自分の考えを広げる活動（第3学年）を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>第1学年～内容及び技能 44 ページ（そのうち情報の扱い方に関する事項は 11 ページ）、話すこと・聞くこと領域は 6 ページ、書くこと領域は 10 ページ、読むこと領域は 20 ページであり、総ページ数 336 ページで、前回より約 2 % 増となっている。</p> <p>第2学年～内容及び技能 37 ページ（そのうち情報の扱い方に関する事項は 9 ページ）、話すこと・聞くこと領域は 5 ページ、書くこと領域は 10 ページ、読むこと領域は 19 ページであり、総ページ数 340 ページで、前回より約 1 % 増となっている。</p> <p>第3学年～内容及び技能 31 ページ（そのうち情報の扱い方に関する事項は 7 ページ）、話すこと・聞くこと領域は 5 ページ、書くこと領域は 7 ページ、読むこと領域は 24 ページであり、総ページ数 348 ページで、前回より約 4 % 増となっている。</p>
<p>使用上の 配慮等</p>	<p>○ おすすめの本のポップを作り、その本の魅力を紹介し合う活動（第1学年）や、自分の考えを持ち、議論の仕方を踏まえて話し合う活動（第3学年）を通して、相手意識や目的意識を明確にするとともに、国語学習の意義を示した「言葉の学習を始めよう」を掲載する（全学年）など、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 「学びの扉」を掲載し、日常生活の中での言語能力に関わる疑問を提示したり（全学年）、「言葉の力」に、「話す・聞く」「書く」「読む」そ</p>

	<p>それぞれの教材で身に付けたい学びのポイントを掲載したり（全学年）するなど、主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。</p> <p>○ 「学びを支える言葉の力」を掲載し、他教科の学習や生活に生かせるようにしたり、脚注欄などの小さめの文字や色文字の振り仮名にはゴシック体を用いたりするなど、使用上の便宜が図られている。</p>
<p>指導上の 配慮等</p>	<p>○ 地域素材については、方言と共通語を学ぶ題材において北海道の方言が扱われるとともに、働き方を調べる題材の例として旭山動物園長の仕事の様子が取り扱われている。</p> <p>○ ICTの活用については、「Dマーク」（QRコード）が掲載されており、「話す・聞く」活動を行う際の手本や解説の動画、古典の朗読音声、練習問題や補充問題などを学習に活用できるよう工夫がなされている。</p> <p>○ 小中連携による指導については、第1学年の巻頭に「小学校で学んだこと」を掲載するとともに、前半の教材は、文章量を抑え、小学校の復習となる内容としているなど配慮がなされている。</p>
<p>本市生徒の 学習の状況等</p>	<p>○ 単元で身に付けた言葉の力を日常の学習や生活場面で活用できるよう、単元の終末に、単元を通して身に付けた力やその力をどのように生かすかを言語化して確認する「振り返り」や、巻末「学びを支える言葉の力」に、学んだことを活用する例を示した「つながる・広がる」を設定するなどの工夫がなされている。</p> <p>○ 目的に応じて、情報を活用して書く力を育むことができるよう、「学びを支える言葉の力」で情報の整理の仕方を学んでから紹介文を書く活動や、伝える目的に応じて情報を集めて新聞を書く活動を設定するなどの工夫がなされている。</p> <p>○ 文章を読んで自分の考えを持ち、根拠を明確にして表現する力を育むことができるよう、「てびき」において、読み深め方と考えを表現する学習過程を示すとともに、文学作品を読み深め、描写や表現を捉えて考えたことを話し合う活動を設定するなどの工夫がなされている。</p>
<p>その他</p>	<p>○ 語彙を広げ、豊かに言葉で表現する力を育むことができるよう、「読むこと」の単元末の「広がる言葉」や、資料編「言葉を広げよう」を設定するなどの工夫がなされている。</p>

観 点	番 号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
		15・三省堂	第1学年 第2学年 第3学年	国語・702 国語・802 国語・902	現代の国語 1 現代の国語 2 現代の国語 3
取扱内容	学習指導要領の総則及び各教科の目標、内容等	<p>○ [知識及び技能] の内容については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～防災に関する複数の資料を読み、根拠となるデータや文章の引用の仕方について理解する活動や、古文の仮名遣いやリズムに注意して音読し、古典の世界に親しむ活動</p> <p>第2学年～共生社会に関するデータや文章を関連付けながら読み、データや文章の一部を引用する活動や、漢詩の表現やリズム、漢詩に描かれた情景を捉え、古人の心情を想像する活動</p> <p>第3学年～メディア・リテラシーに関する複数の資料を読み、情報の信頼性の確かめ方を理解する活動や、歴史的背景などに注意して古文を読み、作者のものの見方や考え方を捉える活動</p> <p>○ 話すこと・聞くことについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～日常生活を振り返って話題を選びスピーチを行う活動や、話題や展開に沿って話合いをつなげる活動を通して、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにする。</p> <p>第2学年～社会生活から題材を探しプレゼンテーションを行う活動や、互いの考えを尊重しながら話し合う活動を通して、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。</p> <p>第3学年～社会生活から題材を探し提案や主張を行う活動や、合意形成に向けて話合いを計画的に進める活動を通して、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。</p> <p>○ 書くことについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～調べて集めた情報を整理してレポートを書く活動や、日常生活の中から題材を決め詩を書く活動を通して、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにする。</p> <p>第2学年～多様な方法で材料を集め新聞などへの投稿文を書く活動や、文章の構成や展開を工夫して論説文を書く活動を通して、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。</p> <p>第3学年～条件に応じて表現を考え説得力のある課題作文を書く活動や、社会生活の課題についてポスターを書く活動を通して、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。</p> <p>○ 読むことについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～説明文の基本構造を捉え内容を把握する活動や、登場人物の判断や行動について考えをまとめる活動を通して、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにする。</p> <p>第2学年～主張と例示との関係に着目して文章を読む活動や、作品の表現や構成の工夫について話し合う活動を通して、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを</p>			

	<p>広げたり深めたりする。</p> <p>第3学年～文章を批判的に検討しながら自分の考えを確かにする活動や、作品の特徴を評価する活動を通して、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～「学びの道しるべ」において、学習課題を設定し、見通しを持たせるとともに、人物像や人物の心情の変化を捉えたり、要旨を捉え筆者の考えに対して自分の考えをもったりするなど、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第2学年～「学びの道しるべ」において、学習課題を設定し、見通しを持たせるとともに、文章と図表を結び付けて筆者の考えを捉えたり、登場人物の人物像と相互関係を捉えたりするなど、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第3学年～「学びの道しるべ」において、学習課題を設定し、見通しを持たせるとともに、科学と社会との関係について自分の考えを広げたり、表現の特徴や工夫を捉え評価したりするなど、考えを広げたり深めたりする活動</p>
<p>内容の構成・排列、分量等</p>	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第1学年～人物の心情の変化や情景描写と場面の展開を捉え、表現の効果について考える活動の後に、過去を回想する構成や語り手の視点を捉え、表現の効果について考える活動を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第2学年～必要な情報に着目して文章を要約し、内容を捉える活動（第1学年）の後に、文章の全体と部分との関係や主張と例示との関係に注意して、筆者の主張を捉える活動（第2学年）を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第3学年～地域の魅力について編集会議を開き、情報誌にまとめて、発表会をする活動（第2学年）の後に、中学校生活を振り返り、編集方針を立てて名言集にまとめ、交流する活動（第3学年）を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>第1学年～内容及び技能 49 ページ（そのうち情報の扱い方に関する事項は 22 ページ）、話すこと・聞くこと領域は 5 ページ、書くこと領域は 7 ページ、読むこと領域は 24 ページであり、総ページ数 351 ページで、前回より約 10% 増となっている。</p> <p>第2学年～内容及び技能 47 ページ（そのうち情報の扱い方に関する事項は 17 ページ）、話すこと・聞くこと領域は 5 ページ、書くこと領域は 7 ページ、読むこと領域は 28 ページであり、総ページ数 351 ページで、前回より約 8% 増となっている。</p> <p>第3学年～内容及び技能 43 ページ（そのうち情報の扱い方に関する事項は 16 ページ）、話すこと・聞くこと領域は 5 ページ、書くこと領域は 5 ページ、読むこと領域は 27 ページであり、総ページ数 335 ページで、前回より約 9% 増となっている。</p>
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○ 相手に伝えたい事柄や気持ちを明確にして手紙を書く活動（第2学年）や、情景を豊かに想像し俳句を読み味わう活動（第3学年）を通して、相手意識や目的意識を明確にするとともに、様々な場面で活用できる実践的知識や具体的な学び方をまとめた「資料編」を掲載する（全学年）など、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 巻頭の「領域別教材一覧」に「つきたい力」を提示し生徒に見通しをもたせ、教材の最後には学習を振り返る機会を設けたり（全学年）、教材に思考と語彙に関する解説を示したり（全学年）するなど、主体的に学習に</p>

	<p>取り組めるような工夫がなされている。</p> <p>○ 『読み方を学ぼう』一覧」を掲載し、他教科や社会生活の中で活用できるようにしたり、独自のフォントを開発し、画数や点画の方向等において誤解が生じないよう配慮したりするなど、使用上の便宜が図られている。</p>
指導上の 配慮等	<p>○ 地域素材については、方言と共通語を学ぶ題材において北海道の方言が扱われるとともに、元旭川市職員（旭山動物園飼育員）が著した旭山動物園を題材とした評論文教材が取り扱われている。</p> <p>○ ICTの活用については、QRコードが掲載されており、古典教材の現代語訳や、読書教材の図解例などを学習に活用できるよう工夫がなされている。</p> <p>○ 小中連携による指導については、第1学年第1単元を学級開きにふさわしい教材配列にするとともに、第1学年に小学校で学習した読み方の基礎を確認できる教材を設定するなどの配慮がなされている。</p>
本市生徒の 学習の状況等	<p>○ 単元で身に付けた言葉の力を日常の学習や生活場面で活用できるよう、単元の終末に目標を振り返り、自分の言葉でまとめるよう促す「学びを振り返ろう」や、単元の学びを発展的に学ぶ活動を示す「学びを広げる」を設定するなどの工夫がなされている。</p> <p>○ 目的に応じて、情報を活用して書く力を育むことができるよう、「情報」で情報の関連付けの仕方を学んでからリーフレットを書く活動や、自分の考えを読み手に伝わるように論説文を書く活動を設定するなどの工夫がなされている。</p> <p>○ 文章を読んで自分の考えを持ち、根拠を明確にして表現する力を育むことができるよう、「学びの道しるべ」において、内容を整理する、読みを深める、自分の考えを深める学習過程を明確にするとともに、文学作品を読み深め、表現の工夫を生かすように朗読する活動を設定するなどの工夫がなされている。</p>
その他	<p>○ 語彙を広げ、豊かに言葉で表現する力を育むことができるよう、「読むこと」の単元末に、教材に関連した語彙を取り上げた「語彙を豊かに」を設定するなどの工夫がなされている。</p>

観点	番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
		17・教出	第1学年 第2学年 第3学年	国語・703 国語・803 国語・903	伝え合う言葉 中学国語1 伝え合う言葉 中学国語2 伝え合う言葉 中学国語3
取扱内容	学習指導要領の総則及び各教科の目標、内容等	<p>○ [知識及び技能] の内容については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～写真を見るとき viewpoint を知り、写真の特徴を生かし多様な活用の仕方について吟味する活動や、昔話を読んで古典には様々な作品があることを知り、古典の仮名遣いに触れる活動</p> <p>第2学年～小説と脚本を構成する情報を整理し、それぞれの効果について理解する活動や、文章の特徴を生かしながら音読したり暗唱したりして、漢文の表現に慣れ親しむ活動</p> <p>第3学年～複数の新聞を比較しながら構成する情報について整理し、それぞれの効果について理解する活動や、和歌の技法や歴史的背景を理解しながら、歌のリズムを味わう活動</p> <p>○ 話すこと・聞くことについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～実物や写真を見せながらお気に入りの一品を紹介する活動や、話題を意識して話し合い結論をまとめる活動を通して、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにする。</p> <p>第2学年～根拠の適切さに注意しながら説得力のある提案をする活動や、よりよい結論を導く討論をする活動を通して、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。</p> <p>第3学年～社会生活の中から課題を見つけ構成を考えて主張をまとめる活動や、意見を共有しながら話し合う活動を通して、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。</p> <p>○ 書くことについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～複数の資料を比較して根拠を基に意見文を書く活動や、読み手の立場に立って文章を評価し報告文を書く活動を通して、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにする。</p> <p>第2学年～多様な方法で材料を集め新聞の投書を書く活動や、事実や体験を基に理由付けをしながら意見文を書く活動を通して、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。</p> <p>第3学年～具体例を基に一般的な特徴を導き説明文を書く活動や、読み手の助言を踏まえて自己PR文を書く活動を通して、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。</p> <p>○ 読むことについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～場面と描写に着目して内容の解釈について話し合う活動や、筆者の考えを踏まえて自分の考えをまとめる活動を通して、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにする。</p> <p>第2学年～作品の構成上の特徴と効果について意見を交流する活動や、社会の中で働くことについて話し合う活動を通して、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。</p>			

	<p>第3学年～作品の表現の仕方を評価する活動や、表現の効果や読み手に与える印象について話し合う活動を通して、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～「学びナビ」において、学習課題を設定し、見通しを持たせるとともに、筆者の主張の視点を整理しながら読んだり、作品の人称・視点を意識しながら読んだりするなど、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第2学年～「学びナビ」において、学習課題を設定し、見通しを持たせるとともに、自分の知識や経験と結び付けて考えたり、イメージの変化に注目して描かれた世界を想像したりするなど、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第3学年～「学びナビ」において、学習課題を設定し、見通しを持たせるとともに、自分の使う言葉や話す場について意識したり、互いの考えを尊重し根拠が妥当であるか評価したりするなど、考えを広げたり深めたりする活動</p>
<p>内容の構成・排列、分量等</p>	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第1学年～目的や意図を意識しながら集めた材料を分類・整理して、案内文を書く活動の後に、身近に起きた出来事や経験したことをまとめ叙述の仕方を考えて、随筆を書く活動を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第2学年～自分の考えと比較し、共通点や相違点を踏まえて考えをまとめる活動（第1学年）の後に、話し手の考えと自分の考えを比較したり、質問したりしながら、自分の考えをまとめる活動（第2学年）を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第3学年～物語の構成や展開を意識して書き、表現の工夫や効果について考えながら「ショートショート」を書く活動（第2学年）の後に、中学校での学習を振り返り、読み手に自分の思いが伝わる作品集を作る活動（第3学年）を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>第1学年～内容及び技能 45 ページ（そのうち情報の扱い方に関する事項は 15 ページ）、話すこと・聞くこと領域は 8 ページ、書くこと領域は 13 ページ、読むこと領域は 20 ページであり、総ページ数 344 ページで、前回より約 2% 増となっている。</p> <p>第2学年～内容及び技能 46 ページ（そのうち情報の扱い方に関する事項は 17 ページ）、話すこと・聞くこと領域は 7 ページ、書くこと領域は 12 ページ、読むこと領域は 20 ページであり、総ページ数 356 ページで、前回より約 2% 増となっている。</p> <p>第3学年～内容及び技能 46 ページ（そのうち情報の扱い方に関する事項は 14 ページ）、話すこと・聞くこと領域は 9 ページ、書くこと領域は 11 ページ、読むこと領域は 24 ページであり、総ページ数 344 ページで、前回より約 1% 減となっている。</p>
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○ 持続可能な社会の実現に向けて、課題を発見する活動（第1学年）や、筆者のものの見方や考え方を捉え、自分の考えを述べる活動（第3学年）を通して、相手意識や目的意識を明確にするとともに、生徒の自学自習に資する資料を収録した「まなびリンク」を掲載する（全学年）など、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 巻頭に「言葉の地図」を掲載し、教材ごとの指導事項や言語活動を総覧できる一覧や自ら学習を振り返る観点を示したり（全学年）、「ここが大</p>

	<p>事」に、学習に当たって確実に身に付けたい重点的な内容を示したり（全学年）するなど、主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。</p> <p>○ 「言葉の自習室」を掲載し、本教材や他教科での学習に役立つようにしたり、判読しやすい配色やレイアウト、表現方法、文字などの工夫により学びやすい紙面づくりに配慮したりするなど、使用上の便宜が図られている。</p>
<p>指導上の 配慮等</p>	<p>○ 地域素材については、読書教材においてアイヌ女性である知里幸恵の生涯を紹介する題材が扱われるとともに、郷土ゆかりの作家である三浦綾子の「塩狩峠」や穂村弘の短歌が取り扱われている。</p> <p>○ ICTの活用については、「Dリンク」（QRコード）が掲載されており、言語活動の進め方を紹介する動画や、教材に関わる資料やワークシートなど学習に活用できるよう工夫がなされている。</p> <p>○ 小中連携による指導については、第1学年の新出漢字に小学校第6学年の配当漢字も含められるとともに、「学びナビ」で、小学校での学習を踏まえた解説が加えられるなどの配慮がなされている。</p>
<p>本市生徒の 学習の状況等</p>	<p>○ 単元で身に付けた言葉の力を日常の学習や生活場面で活用できるよう、単元の終末に「振り返り」を設定するとともに、学んだことを他教科等で生かす例を示した「学びチャレンジ」を設定するなどの工夫がなされている。</p> <p>○ 目的に応じて、情報を活用して書く力を育むことができるよう、「メディアと表現」において写真の特徴を確認して案内文を書く活動や、読み手によく伝わるように文章を評価・推敲して書く活動を設定するなどの工夫がなされている。</p> <p>○ 文章を読んで自分の考えを持ち、根拠を明確にして表現する力を育むことができるよう、「みちしるべ」において、単元を通して内容を読み深め、自分の考えを伝え合う活動を学習過程に位置付けるとともに、文学作品の構成上の特徴について効果を話し合う活動を設定するなどの工夫がなされている。</p>
<p>その他</p>	<p>○ 語彙を広げ、豊かに言葉で表現する力を育むことができるよう、各単元において、学習や思考に関わる用語や表現を取り立てて教材化した「この教材で学ぶ言葉」を設定するなどの工夫がなされている。</p>

観点	番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
		38・光村	第1学年 第2学年 第3学年	国語・704 国語・804 国語・904	国語1 国語2 国語3
取扱内容	学習指導要領の総則及び各教科の目標、内容等	<p>○ [知識及び技能] の内容については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～学校図書館を活用した情報の集め方を身に付け、図表と文章を関連付けながら読み解く活動や、3年間で学習する古典を見通し、その学びが現代にどのように生きていくかを理解する活動</p> <p>第2学年～多様なメディアを活用した情報収集の方法を身に付け、ニュースを読み解く活動や、古典の世界を感じることができる図版資料から、その世界観を視覚的に味わう活動</p> <p>第3学年～実用的な文章の読解や新聞の比べ読みを通して、情報の信頼性を確かめる活動や、古典の文章の中から心に響いた言葉を引用し、自分の思いを伝える活動</p> <p>○ 話すこと・聞くことについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～話の構成を考えてスピーチし互いを理解し合う活動や、話題や展開を捉え協力して議論を深める活動を通して、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにする。</p> <p>第2学年～資料や機器を活用してプレゼンテーションをする活動や、多様な捉え方ができる問題について討論する活動を通して、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。</p> <p>第3学年～よりよい社会の実現を目指して自分の意見を発信する活動や、課題を見付け合意形成に向けて話し合う活動を通して、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。</p> <p>○ 書くことについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～グラフなどの統計資料を引用してレポートを書く活動や、自分が書いた書評について助言し合う活動を通して、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにする。</p> <p>第2学年～多様な方法で情報を集めガイドブックにまとめる活動や、表現の効果を考えながら鑑賞文を書く活動を通して、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。</p> <p>第3学年～客観的に対象を分析し説得力のある批評文を書く活動や、課題に沿ってグラフを分析し、小論文を書く活動を通して、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。</p> <p>○ 読むことについては、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～作品や人物の特徴について気付いたことを発表する活動や、記述や図表を根拠として自分の考えをまとめる活動を通して、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにする。</p> <p>第2学年～作品の魅力をもとめて語り合う活動や、文章の構成や論理の展開について話し合う活動を通して、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。</p>			

	<p>第3学年～友だちの批評を読んで考えが深まったことを発表する活動や、文章の比較を基にグループで討論する活動を通して、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～「学習（手びき）」において、学習課題を設定し、見通しを持たせるとともに、説明の工夫を捉えながらものの見方を広げたり、根拠を明らかにしながら伝え合ったりするなど、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第2学年～「学習（手びき）」において、学習課題を設定し、見通しを持たせるとともに、構成を捉え説明の仕方を工夫したり、根拠を吟味し説得力を高めたりするなど、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第3学年～「学習（手びき）」において、学習課題を設定し、見通しを持たせるとともに、問題意識をもち社会に視野を広げたり、対象を評価し多様性の中で自分の考えを確立したりするなど、考えを広げたり深めたりする活動</p>
<p>内容の構成・排列、分量等</p>	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第1学年～自分にとって必要な情報を的確に捉えながら、要点を押さえて聞き取ったことをメモに取る活動の後に、質問の仕方や聞き方を工夫して話を引き出し、対話を充実させる活動を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第2学年～筆者の主張を要約し、それに対する自分の考えを持つ活動（第1学年）の後に、観点を明確にして文章を比較し、その分析を基に構成や表現の効果を考える活動（第2学年）を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第3学年～国語を学ぶ意義についてテーマを決めてグループで話し合い、壁新聞を作る活動（第2学年）の後に、3年間の国語の学びを振り返り、冊子にまとめて、発表会をする活動（第3学年）を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>第1学年～内容及び技能 65 ページ（そのうち情報の扱い方に関する事項は 17 ページ）、話すこと・聞くこと領域は 7 ページ、書くこと領域は 14 ページ、読むこと領域は 19 ページであり、総ページ数 344 ページで、前回より約 1 % 増となっている。</p> <p>第2学年～内容及び技能 65 ページ（そのうち情報の扱い方に関する事項は 14 ページ）、話すこと・聞くこと領域は 7 ページ、書くこと領域は 14 ページ、読むこと領域は 21 ページであり、総ページ数 330 ページで、前回より約 1 % 増となっている。</p> <p>第3学年～内容及び技能 59 ページ（そのうち情報の扱い方に関する事項は 14 ページ）、話すこと・聞くこと領域は 7 ページ、書くこと領域は 9 ページ、読むこと領域は 19 ページであり、総ページ数 318 ページで、前回より約 3 % 増となっている。</p>
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○ 興味のあることや伝えたいことを分かりやすく説明する活動（第1学年）や、会議を開き紙面構成を工夫した修学旅行記を編集する活動（第3学年）を通して、相手意識や目的意識を明確にするとともに、学習の参考となる資料を収録した「広がる学び深まる学び」を掲載する（全学年）など、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 巻頭に「思考の地図」を掲載し、様々な場面で活用できる思考ツールや情報の可視化の方法を示したり（全学年）、「学習の窓」に、学習を通して身に付ける汎用的な資質・能力を示したり（全学年）するなど、主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「学習を振り返ろう」を掲載し，他教科や日常生活に広げて活用できるようにしたり，小さな文字は，ユニバーサルデザインフォントを使用したりするなど，使用上の便宜が図られている。
指導上の 配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域素材については，方言と共通語を学ぶ題材において北海道の方言が扱われるとともに，郷土ゆかりの作家である三浦綾子の「塩狩峠」の文章の一部が取り扱われている。 ○ ICTの活用については，QRコードが掲載されており，「話す・聞く」活動を行う際の手本や解説動画，古典の朗読音声などを学習に活用できるよう工夫がなされている。 ○ 小中連携による指導については，第1学年の第1単元に入る前に「言葉に出会うために」を設定し，小学校で学んだ基礎・基本を確認できるようにするとともに，前半の教材は文章量が抑えられているなどの配慮がなされている。
本市生徒の 学習の状況等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単元で身に付けた言葉の力を日常の学習や生活場面で活用できるよう，単元の学習を通して「何ができるようになったか」を指導事項に基づく観点別に言語化して確認する「振り返る」や，学んだことを応用し，問題の解決を通して力の定着を図る「学習を振り返ろう」を巻末に設定するなどの工夫がなされている。 ○ 目的に応じて，情報を活用して書く力を育むことができるよう，「情報整理のレッスン」で比較・分類の仕方を学んでから説明文を書く活動や，自分の意見を明確に伝えるように意見文を書く活動等を設定するなどの工夫がなされている。 ○ 文章を読んで自分の考えを持ち，根拠を明確にして表現する力を育むことができるよう，「学習」において，「捉える」「読み深める」「考えをもつ」を設定し段階的に考えを形成する学習過程を明確にするとともに，文学作品を読み深め，主人公と異なる別の人物の視点から文章を書き換える活動を設定するなどの工夫がなされている。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○ 語彙を広げ，豊かに言葉で表現する力を育むことができるよう，全学年で語彙力向上のための教材を設定するとともに，巻末に資料「語彙を豊かに」を設定するなどの工夫がなされている。